



平成30年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(特許)

コニカミノルタ株式会社

代表執行役社長兼CEO 山名 昌衛

会社概要

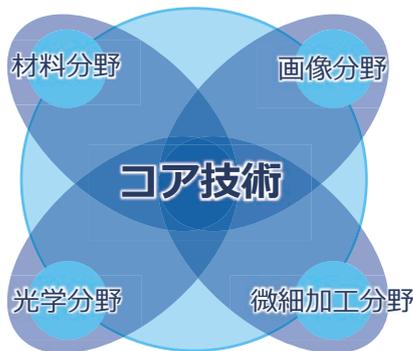
<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/index.html>

所在地	東京都千代田区丸の内2-7-2
設立	1936年
資本金	37,519百万円
従業員	5,770人
事業内容	情報機器分野、バイオ・ヘルスケア分野、産業用材料・機器分野における開発製造販売、ソリューションサービスの提供

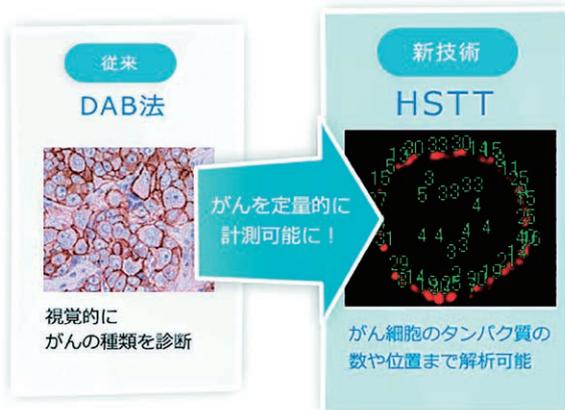


受賞のポイント

- 知的財産に関する戦略や権利取得及び活用等に関して、知的財産部が事業横断的に統括し、各事業部門長や知的財産部が参加する知財戦略会議を定期的開催している。開発に密着して知的財産戦略策定や発明の発掘を担うリエゾン機能、出願から権利化までを担う実務機能、他社特許への対応や他社との折衝を担う他社対応機能の3つの機能毎に業務標準を明確に規定することで、個人毎のばらつきを防ぎ、業務品質の維持・向上を図っている。
- カメラや写真フィルムなどの開発・製造を通じて蓄積した「材料」「光学」「微細加工」「画像」の分野における「コア技術」を特許群により保護するとともに、事業領域毎に知財戦略を策定して実行することにより、「コア技術」の活用による新たな製品や事業の創出に貢献している。
- 同社は新たに開発した医療技術を活用しバイオヘルスケア事業に参入している。当該事業参入を知的財産面からサポートするため、日米において数百件の特許を出願して特許網の構築を進めている。同社の技術との相乗効果を狙った海外企業のM&Aの検討から知的財産部が入り込み、両者が持つ技術を合わせることで、プレジジョン・メディシン(個別化医療)領域で必須の「コア技術」を守る知的財産の獲得を図り、海外への事業展開を進めている。



コニカミノルタのコア技術



がん細胞に発現するたんぱく質を蛍光ナノ粒子を用いて正確に検出する技術「HSTT」